

軽便鉄道博物館の保存電車「モニ 226」リニューアル工事

PC17

北勢線とまち育みを考える会（ASITA）

安藤 たみよ、宮本 浩義、大橋 透、森 和彦、杉山 俊彦、原 文人

1. はじめに

今回リニューアルした車両は当会が運営している「軽便鉄道博物館」の顔「モニ226」。かつて北勢線で活躍していた木造電車です。2011年に修復工事が完了して、阿下喜の顔となってはや13年。外見はまだそれなりに綺麗で良好な保存状態に見えますが、実は雨漏りが激しく屋根周りを中心にかなり腐食が進んできていました。



今回のリニューアル工事のポイント

車内への雨漏りがひどい → 漏水防止工事が今回リニューアルのメインテーマ

- | | | |
|-----------|---------------|--------------|
| 重点実施項目 | ・ シート防水のやり替え | ・ 水回りの木部材の更新 |
| 併せて実施する項目 | ・ 経年劣化した部品の更新 | ・ 外部塗装のやり替え |

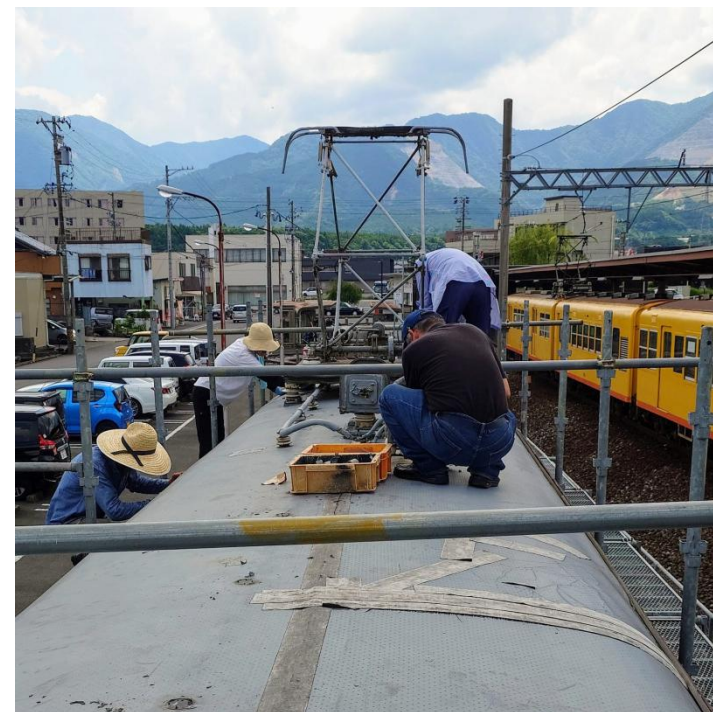
今回のリニューアル工事の基本スタンス

- | | | |
|------------------------|----------------|------------|
| 極力自前やってみる | ・ 少ない予算でリニューアル | ・ 応援者の力を活用 |
| 重要ポイントである防水工事だけは専門職に外注 | | |

2. 準備工事

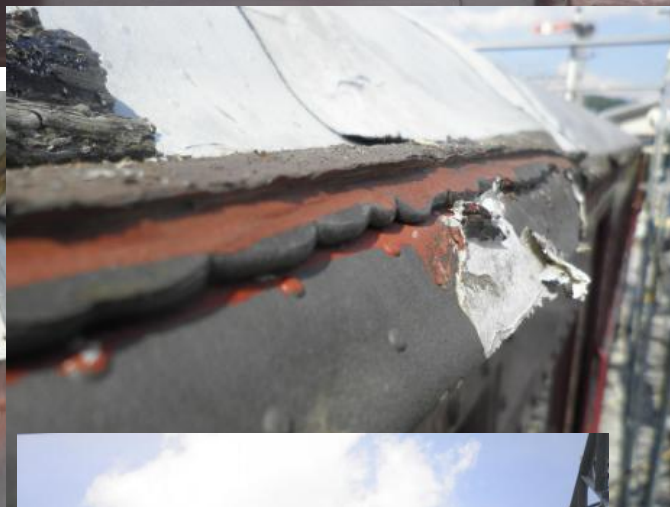
まずは車両のまわりに作業用足場を作ります。単管パイプの本格的な足場です。応援者のご厚意により、材料を提供していただき、応援者と会員が力合わせて組み上げました。

前照灯やパンタグラフ。屋根に取り付けられている機器は降ろして調整します。機器の土台は更新します。



3. いざ解体してみると・・・

防水シートをめくってばらしてみると、樋をはじめ屋根の水回りの木部はかなり腐っていました。屋根の木製部材はすべて更新します。天井をめくってみると水が天井裏にまで回っていることが分かりました。天井裏から窓周りを伝って座席の下にまで水は回っていました。腐食した部材はこの機会に更新します。



4. 更換部品の調整

ここでも応援者のご厚意により
木材を設計図面の形状に加工して
無償提供していただきました。
塗装は会員による手作業で実施し
ました。

取り外した機器は降ろして丁寧に調整します。きれいに汚れを落
としてペイント塗装します。



パンタグラフ台座



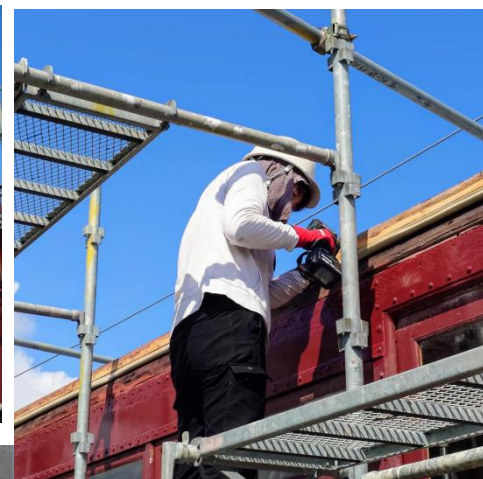
樋・シート押え



窓枠

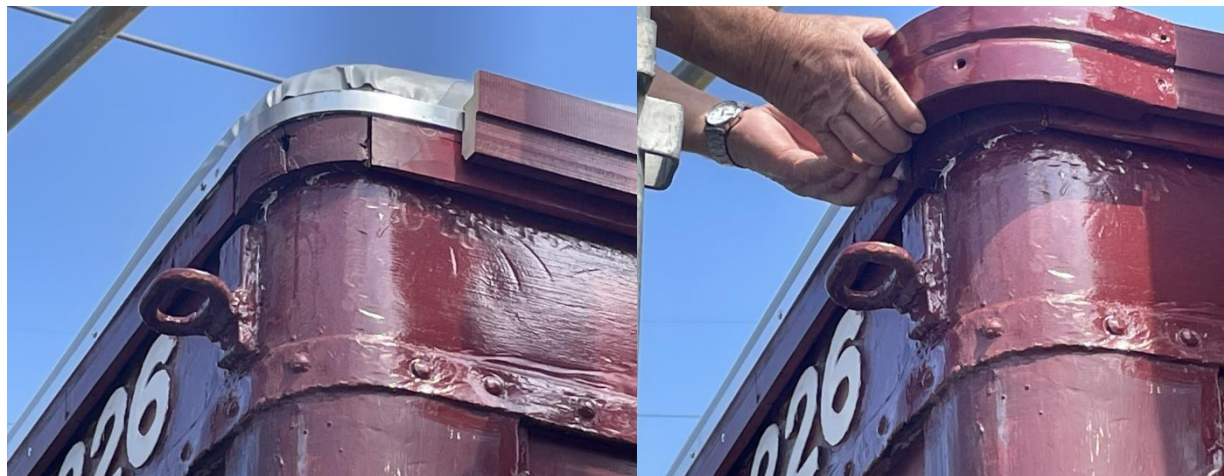
5. 防水シート貼り付け

木製の樋を取り払い丁寧にシートを撤去します。シート貼りは今回工事のメインです。この要の作業はプロの技に任せました。シートをピンと張って端部をシート押え金具で留めています。シートのはみ出た部分は丁寧にカットします。前周に亘ってはみ出しシートをカットしてシート工は完成です。



6. 水回り復旧

シートを貼った屋根の周りには、新しく作り直した樋を取り付けます。継ぎ目はコーキングしてきれいに仕上げます。



7. 機器部材取付

きれいになった屋根の上に取り外してあったパンタグラフや前照灯などの機器を取り付けます。



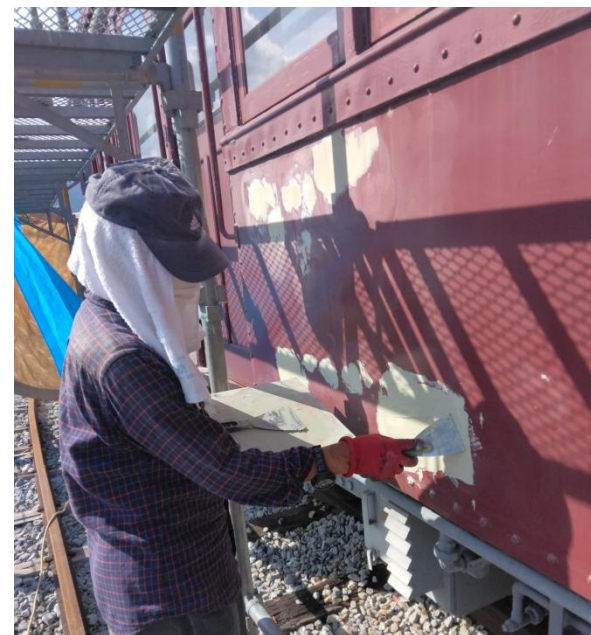
車内では窓枠を更新しました。新しい部材を取り付けます。取りつけた窓枠を調整して、周りの塗装もやり替えました。



8. 外部塗装

外板は塗装前にパテで下地調整します。かなり古い車両なので結構大きな凸凹があります。

パテで厚化粧した外板を塗装します。近鉄時代のマルーンレッドで仕上げます。



9. かかった費用

シート防水外注費 約 28万円

塗料、コーキング材、雑材料ほか購入費
約 12万円

およそ総額 約 40万円

大部分を会員の手で作業し、多くの地域の応援者に助けていただいて、こんなに安い費用でリニューアル工事を成し遂げることができました。応援していただいたみなさま。本当にありがとうございました。

10. リニューアル完了

約1年かけて実施してきたリニューアル工事。2024年10月ようやく工事は完了し、11月2日の中部地区路面電車サミットでお披露目ということになりました。きれいに仕上がった晴れ姿。クリスマス用にラッピングされた列車と並んで、はい、ポーズ！



今回のリニューアル工事で得られた経験は、今後への大きな原動力になります。